

令和4年度 総合教育センター研修講座（希望研修）案内

申込方法

岩手教育情報交流ネットで申し込んでください。
 岩手教育情報交流ネットが利用できない場合は、「教職員研修の手引」【研修様式1】に記入し、直接総合教育センターに提出してください。

申込締切

申込締切日は研修講座によって異なります。各講座の申込締切日をご確認ください。
 なお、募集定員に達した場合はその時点で申込を締め切ります。ご了承ください。

その他

- ① 研修講座の日程については、総合教育センターWebページで閲覧することができます。
<http://www1.iwate-ed.jp/>
- ② 岩手教育情報交流ネットによる申込手続き、及び基本研修・特別研修については、「教職員研修の手引」をご覧ください。
- ③ 都合により、講座内容が変更になることがあります。
- ④ 公開研修を除く希望研修の旅費は、センター負担（ただし、国立・私立・盛岡市立高等学校は除く）です。

※1 一覧表の「研修形態」欄の印の意味は次のとおりです。

☆	事前にオンデマンド型研修を受講してから集合研修を受講する研修
◇	事前にライブ型研修を受講してから集合研修を受講する研修
◎	事前にオンデマンド型研修を受講してからライブ型研修を受講する研修
○	事前にオンデマンド型研修を受講してから集合研修かライブ型研修のどちらを受講するか選択できる研修
□	集合研修かライブ型研修のどちらを受講するか選択できる研修
印のない研修講座は、集合研修となります。	
オンデマンド型研修の視聴期間等については、各研修講座の実施要項でご確認ください。	

※2 各研修形態の説明

【集合研修】総合教育センターに集合して行う研修
【オンデマンド型研修】	..事前録画映像を視聴期間内に視聴する研修
【ライブ型研修】Web会議アプリ等でリアルタイムに講義を視聴する研修

<教科・領域等、情報教育、教育相談等、特別支援教育>

区分	実施期日	※1 研修 形態	講座番号 講座名	主な講座内容等	募集対象					申込締切日 (定員)
					小	中	高	特	事務	
教科・ 領域等	5月10日(火)	☆	3123 中学校数学授業づくり	学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくりについて、具体的・実践的な内容を通して学ぶとともに、本県数学科の課題や数学的な見方・考え方に焦点を当てた授業改善について学ぶことができます。ICTを活用した数学的に考える資質・能力を育む授業づくりについても考えます。		●				4月18日 (25名)
	6月24日(金)	☆	3121 中学校国語魅力ある 単元づくり	年度ごとに文学的な文章、説明的な文章、古典と取り上げる文種を変えながら、言語活動を適切に位置付けた単元構想の在り方や具体的な教材分析の視点について研修を行っています。今年度は説明的な文章を取り上げ、実際に単元構想の作成や交流を行い、授業改善の視点について学び合います。		●				6月1日 (20名)
	6月29日(水)	☆	3125 技術・家庭科(技術 分野)の授業づくり	中学校技術・家庭科の指導と評価の一体化について、学習指導要領のポイントを押さえながら実践的指導力の向上を図ります。技術分野の4つの内容項目の中から選択し、実習題材の製作や理論、ICT活用について研修を行います。(今年度は「統合的な問題」解決の指導についての予定)		●		●		5月31日 (10名)
	【ライブ型】 7月1日(金)	◎	3173 社会科、地理歴史 科、公民科の系統性 を踏まえた授業づくり	学習指導要領の趣旨を踏まえ、社会的な見方・考え方を働かせた授業づくりについて理解を深めます。各科目の系統性や役割等を意識しながら、同一題材(今年度は公民)で授業づくりを行い、今後の授業に役立てていただけるような内容となっています。	●	●	●			6月2日 (12名)
	7月1日(金)	☆	3126 小・中・高をつなぐ 中学校英語授業づくり	中学校外国語科における授業づくりの基礎・基本を確認する講座です。単元のまとめや小学校、中学校、高等学校の接続を見据えた資質・能力の育成を図る授業づくり、ICTを活用した授業改善等について学び、これから求められる外国語科の授業づくりについて考えていきます。	●	●	●	●		6月3日 (20名)
	9月2日(金)	☆	3124 中学校美術授業づく りのポイント	美術科で育成する資質や能力とは何か、そのための授業はどうあればよいか考える講座です。題材設定のポイント、A表現及びB鑑賞の指導と評価のポイントについて、演習を通して理解を深めていきます。	●	●	●	●		8月5日 (12名)
	9月7日(水)		3171 現地に学ぶ地学	三陸ジオパーク県南エリア(大船渡市・陸前高田市等)を研修場所とし、「大地の成り立ち」、「地域資源及び施設を活用した教科指導」、「地層及び岩石の観察」について考えます。地球変動の歴史を物語る重要な地層を専門的な解説を聞きながら観察し、大地の営みを体感・理解します。	●	●	●	●		8月24日 (7名)

【研修形態】 ☆: 集合型+オンデマンド型 ◇: 集合型+ライブ型 ◎: ライブ型+オンデマンド型 ※無印は集合型
 □: 集合型かライブ型 ○: オンデマンド型+集合型かライブ型

区分	実施期日	※1 研修 形態	講座番号 講座名	主な講座内容等	募集対象					申込締切日 (定員)
					小	中	高	特	事務	
教科・ 領域等	【ライブ型研修】 8月26日(金) 【集合研修】 9月9日(金)	◇	3134 高等学校教科専門 「理科」	科学的に探究する活動を取り入れた授業の在り方について理解を深めます。さらに、「物理」、「化学」、「生物」の科目からいずれかを選択し、高い技能を必要とする実験や教材製作などにチャレンジする、専門性の向上に役立つ内容です。			●	●		8月19日 (16名)
	9月9日(金)	○	3131 高等学校教科専門 「国語」	「言語文化」の古典分野における「読むこと」領域の授業づくりを行う講座です。「精査・解釈」、「考え方の形成・共有」の学習過程を重視する学習活動を取り入れた単元構想づくりを通して、古典の世界に親しむための学習指導の工夫改善の方法について学びます。			●	●		8月10日 (10名)
		☆	3132 高等学校教科専門 「地歴・公民」	「地理総合」「歴史総合」の授業づくりを行う講座です。単元のまとまりを見通した指導計画の立て方について演習を行い、評価問題の作成を通して生徒の資質・能力を伸ばす授業について学びます。(来年度は「公共」の授業づくりを行います。)			●	●		8月26日 (10名)
		□	3133 高等学校教科専門 「数学」	県の重要課題である学力向上を図るための教科指導の在り方について、授業改善の方策に焦点化した講座です。指導と評価の一体化のための学習評価の在り方や個別訪問で得られた具体的な事例紹介、ICTを活用した生徒の活動を高める授業づくりなど授業改善のきっかけとなる研修を行います。			●	●		8月26日 (10名)
			3135 高等学校教科専門 「外国語(英語)」	指導と評価の一体化のための学習評価の在り方についての理解を深める講座です。今回の研修では、学習評価の基本を確認し、グループで「読むこと」「書くこと」における「思考・判断・表現」の評価問題を作成・検討します。評価の側面から指導を見つめ直し、授業改善へつなげていく視点も学びます。			●	●		8月26日 (10名)
			3136 高等学校教科専門 「家庭」	持続可能な開発目標(SDGs)など持続可能な社会の構築に向けて実践的・体験的な学習活動を提案し、指導の充実と向上を目指す講座です。実習や演習を行い、具体的な指導方法についての研修をします。			●	●		8月19日 (10名)
	9月13日(火)		3161 高等学校教科 「情報」授業づくり	高等学校共通教科「情報」の学習指導要領に即して情報活用能力を高める授業の進め方や教材の作成及び指導方法に関する講座です。情報教育の最新の動向と指導の工夫、プログラミングの指導の在り方について学びます。			●	●		8月30日 (10名)
	7月7日(木)	□	3261 進路指導充実のための 労働関連法教育	就職や進学後のアルバイト就労に向けた進路指導の充実を図るため、キャリア教育および労働関連法教育の視点から、働くことの意義や働く上での義務・権利に関する内容、生徒が知っておくべき労働法や労使間トラブルとその対処方法等について、具体的な事例をもとに研修します。			●			6月23日 (10名)
	9月2日(金)	☆	3271 実践 組織マネジメント	中堅リーダーの育成を支援する講座です。リーダー及びリーダーシップについて理解を深め、実践力の素地を養うための講義と演習があります。また企業における組織マネジメントについて公開講演を行います。	●	●	●	●		8月4日 (28名)
	情報 教育	6月3日(金)	□	3374 自校で取り組む情報 モラル指導	文部科学省から発出されている情報モラル教材に則り、児童生徒が情報モラルの事案を自分事として捉えるための対話的な授業について研修します。「情報モラル授業の指導略案の作成」の講義と演習を行います。	●	●	●	●	
6月17日(金)		□	3371 時短お手軽アンケート 集計	マークシートの作成から集計まで行えるフリーソフト「SQS」やWeb上で簡単に作成・集約できるアンケートなどを効果的に活用するための講座です。読み取り・集計および基本的な分析方法について研修します。	●	●	●	●		6月3日 (20名)
7月1日(金)		☆	3372 オンライン授業実践	県内で行われている遠隔授業や反転授業の実践事例の紹介をします。また、Microsoftの学習支援アプリのほか、ロイロノート・スクールやYouTubeの活用方法についての講義と演習を行います。	●	●	●	●		6月2日 (20名)
10月6日(木) ～7日(金)		☆	3373 基礎からの学校Web ページ作成・活用	学校Webページ作成における各サイトの構成やデザインについて学び、ホームページビルダーを用いてWebページを作成します。またWebページのサーバーへの転送、Webページ作成における著作権等の留意点についても研修します。	●	●	●	●		9月7日 (20名)
10月28日(金)			3311 小学校プログラミング 教材活用	小学校プログラミング教育の在り方についての研修を行います。小学校におけるプログラミング教育とは何かについて理解を深め、実際にプログラミング教材を体験しながら、どのような授業ができるかについて研修します。	●			●		10月14日 (20名)
11月11日(金)		□	3375 校務で活かす初めての Excel VBA	Excelファイルの処理を自動化するVBAについて研修します。Excel VBAの環境設定や基本文法、関数の知識など、基本的なプログラミングや操作方法について理解を深め、具体的な活用方法についての講義と演習を行います。	●	●	●	●		10月28日 (16名)
11月11日(金)		○	3377 アルディーノやマイ クロビット等を用いた 教材作成	マイコンボード「アルディーノ」や、小学校プログラミング教育で取り上げられることの多い「マイクロビット」等を使い、LEDの点灯や各種センサやスイッチの取り扱い、プログラミングの仕方について講義と演習を行います。その後、授業での活用と教材作成について研修します。	●	●	●			10月13日 (15名)

【研修形態】 ☆：集合型+オンデマンド型 ◇：集合型+ライブ型 ◎：ライブ型+オンデマンド型 ※無印は集合型
□：集合型かライブ型 ○：オンデマンド型+集合型かライブ型

区分	実施期日	※1 研修 形態	講座番号 講座名	主な講座内容等	募集対象					申込締切日 (定員)
					小	中	高	特	事務	
教育 相談等	4月25日(月) ~26日(火)		3476 教育相談スキルアップ	教育相談に関する基本的な知識(相談体制づくり、相談技法の基本、支援の必要な児童生徒の理解等)について学びます。「2131高等学校新任教育相談担当研修講座(特別研修)」と一部合同で行います。	●	●	●	●		4月12日 (40名)
	7月5日(火)		3471 気づきと実践の教育 相談	明治大学の諸富祥彦先生を招き、教育相談の基本となる人間関係づくりやカウンセリングの基本などを学びます。教員経験の長短を問わず、教育相談について学びたいという方を対象とします。	●	●	●	●		6月21日 (45名)
	7月7日(木)		3473 養護教諭学校救急看 護分野Ⅰ	学校事故は、突発的に発生するものであり、早急に適切な対応をすることが求められます。本研修では日本体育大学の鈴木健介先生から、学校における緊急時において、養護教諭に求められる緊急度の評価とその後の対応等について学びます。	●	●	●	●		6月23日 (40名)
	9月13日(火)		3474 養護教諭学校救急看 護分野Ⅱ	学校救急体制における養護教諭の役割として、フィジカルアセスメントの在り方や感染症予防対策、児童生徒の歯や口腔外傷の現状とその対応等について、看護師や医師、歯科医師から学びます。	●	●	●	●		8月30日 (40名)
	12月9日(金)		3472 養護教諭健康相談・ 保健教育分野	多様化する健康課題の解決に向けて、健康相談・保健教育の在り方や進め方について学ぶ講座です。埼玉大学の戸部秀之先生から、行動科学を生かした保健教育について学んだり、他校の実践から今後の取組のヒントを得たりすることができます。	●	●	●	●		11月25日 (15名)
	9月21日(水)		3475 感情コントロールの 力を育てる教師のか かわり	早稲田大学の本田恵子先生を招き、子供の感情コントロールの力がどのように育っていくのかを、脳のメカニズムや制御機能から考えます。その上で感情をコントロールする力はどのように育てていけばよいか、学校現場での具体的な対応や児童生徒との振り返りの仕方について学びます。	●	●	●	●		9月7日 (60名)
	10月13日(木) ~14日(金)		3477 ソーシャルスキルト レーニング	桜美林大学の小関俊祐先生を招き、認知行動療法とソーシャルスキルトレーニングの基本的な考え方を学びます。また、事例検討を通して、ソーシャルスキルトレーニングを学級で展開するためのヒントを得るとともに、子供の人と関わる力の育成について理解を深めます。	●	●	●	●		9月29日 (40名)
	2月22日(水)	☆	3478 認知行動療法による 不登校のアセスメン トと支援Ⅰ	認知行動療法による不登校予防のための対応を学びます。不登校のリスクが高いと思われる児童生徒に対して、深刻な事態にならないための支援について、演習やⅡの研修者による事例発表から具体的に学びます。次年度2月に実施される講座と併せて継続型研修として実施します。	●	●	●	●		1月20日 (20名)
2月22日(水)	☆	3479 認知行動療法による 不登校のアセスメン トと支援Ⅱ	前年度に「3478認知行動療法による不登校のアセスメントと支援研修講座Ⅰ」の継続型研修として実施する講座です。4月からの支援の経過や結果を確認し合い、協議及び発表を経て、不登校が予測される児童生徒の支援について理解を深めます。(前年度に3478の研修講座を受講済みの方が対象)	●	●	●	●		1月20日 (20名)	
特別 支援教育	4月5日(火)	☆	3577 特別支援教育新任担 当教員(スタート研 修)	小学校、中学校、義務教育学校の特別支援学級や通級指導教室において、特別支援教育を初めて担当する先生方を対象にした講座です。障がい種別の基本的な対応や、教育課程の編成、個別の指導計画作成等、特別支援教育の基本を学びます。	●	●				別途通知 (150名)
	5月19日(木) ~20日(金)	☆	3531 高等学校における特 別支援教育実践力向 上Ⅰ	高等学校における特別支援教育の実践力向上を目指して、対象生徒の支援ニーズに応じた具体的な実践に結びつくプログラムを準備しています。Ⅰ(アセスメント・計画編)では、受講者の所属校の事例に基づく困難さの見立てと個別の指導計画等を作成します。Ⅱ(実践・改善編)では、指導・支援の事例検討と個別の指導計画の中間評価・見直しを行います。Ⅲ(評価・次年度構想編)では、指導・支援の評価と次年度に向けた構想を立案します。また、受講者のニーズに応じて、所属校に所員が出向くフォローアップ研修(実際の授業や指導場面を参観してのアドバイス等)も実施します。			●			4月22日 (10名)
	10月11日(火) ~12日(水)	☆	3532 高等学校における特 別支援教育実践力向 上Ⅱ	全3回の継続型講座となりますが、同一研修者による受講、また、同一校の中で各回ごとに研修者を調整していただき受講することも可能です。			●			
	1月30日(月) ~31日(火)	☆	3533 高等学校における特 別支援教育実践力向 上Ⅲ				●			
	6月16日(木) ~17日(金)		3571 通常の学級における 特別支援教育の視点 を生かした支援	1日目は、特別支援教育の視点を生かした子供主体の授業づくりについて、2日目は、視知覚の発達や発達障がい等に触れながら、子供の発達と支援の在り方について学びます。どちらか1日の参加も可能です。	●	●	●	●		6月2日 (30名)
	7月1日(金)		3572 心理・発達検査の結 果を生かした支援	WISC-ⅣやKABC-Ⅱ、S-M社会生活能力検査などを取り上げ、諸検査の基本的な理論や内容について学びます。また、諸検査の結果を日常生活に生かすことができるように、学校で行う具体的な支援を考えます。	●	●	●	●		6月17日 (40名)
	9月28日(水)	☆	3576 特別支援教育におけ るタブレットPC活 用基礎	前半は、実践発表を聞き、特別支援教育におけるタブレットPCの活用方法を学びます。後半は、特別支援教育で効果が期待できるアプリケーションや基本的な機能について実際にタブレットPCを操作しながら基礎的な内容を学びます。	●	●	●	●		9月1日 (25名)

【研修形態】 ☆：集合型+オンデマンド型 ◇：集合型+ライブ型 ◎：ライブ型+オンデマンド型 ※無印は集合型
□：集合型かライブ型 ○：オンデマンド型+集合型かライブ型

<公開研修> ※旅費は学校負担（割当旅費）

区分	実施期日	※1 研修 形態	講座番号 講座名	主な講座内容等	募集対象					申込締切日 (定員)
					小	中	高	特	事務	
公開 研修	5月11日(水)	☆	3612 小学校算数授業づくり	学習指導要領の趣旨を踏まえ、算数科の授業づくりや授業の進め方について学ぶ研修講座です。算数科におけるICTを活用した授業づくりについても考えていきます。単元計画や展開案などを作成しながら、指導力の向上を目指します。	●			●		4月18日 (40名)
	6月10日(金)	□	3675 プレゼン・動画編集 初級	プレゼンテーションのスライド資料を作成する際の基本的な考え方や留意点と、動画編集の基本及び操作について、講義と実習を行います。実習では持参したデータを用いて、授業で活用するためのスライドや動画教材の作成を行います。	●	●	●	●		5月27日 (15名)
	6月10日(金)	☆	3611 小学校国語授業づくり	言語活動を適切に位置付けた単元構想や国語科における学習評価、教材分析の視点や具体的な指導の在り方について研修を行っています。今年度は、低学年から高学年までの教科書教材の中から文学的な文章を取り上げ、具体的な授業づくりについて考えます。	●					5月18日 (20名)
	6月16日(木)	○	3617 作って活かす小学校 理科	第6学年「電気の利用」のものづくりの指導の在り方について研修します。本講座では「micro:bit」を取り上げます。また、教材作製ではペットボトルカッターを作ります。さらに、デジタル電圧計、並列回路用リード線、酸素センサーから1つを選んで作ります。理科工作が初めての方でも安心して作製できます。	●			●		4月26日 (12名)
	6月17日(金)	☆	3613 小学校音楽授業づくり	歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の授業のポイントやユニバーサルデザインのアイデアについて、演習や実践例の紹介を通して理解を深めます。また授業で使えるICT機器の活用方法も紹介します。	●			●		5月23日 (20名)
	6月24日(金)	☆	3615 小学校外国語・外国 語活動授業づくり	英語でコミュニケーションを図る喜びを味わう授業づくり、ICTを活用した授業改善等について学ぶ講座です。小学校英語教育推進リーダーを講師として、児童の意欲を引き出す小学校外国語指導のポイント等についても学びます。英語が苦手だと思う先生方も楽しく学ぶことができる講座です。	●	●	●	●		5月27日 (20名)
	7月8日(金)		3616 スタートアップ複式 指導	「複式学級で授業を進めるための基礎知識」について学ぶ講座です。具体的な事例を通して授業づくりに必要な手順について学ぶとともに、実際に国語科または算数科の授業づくりの演習をすることで、直接指導や間接指導のポイントをつかむことができます。	●			●		6月24日 (20名)
	11月11日(金)	☆	3614 図画工作授業づくり のポイント	図画工作科で育成する資質や能力とは何か、そのための授業はどうあればよいかを考える講座です。表現や鑑賞の指導と評価のポイントについて、教科書の題材を取り上げ実際に体験しながら理解を深めていきます。また、特別な配慮を要する児童への指導上の配慮事項についても触れていきます。	●	●		●		10月14日 (30名)
	12月22日(木)	□ 中 級 の み	3673 Excel (初級・中級)	初級と中級に分かれて行います。初級は、成績シートや会計シートの作成を通して、基本操作の習得を行います。中級は、よく使う関数とグラフ化の方法を習得し、意図するシートの作成を行います。	●	●	●	●	●	12月8日 (16名)
	12月23日(金)	□	3676 わくわくミシン指導 スキルアップ	新学習指導要領に対応した制作実習におけるミシン操作と、一斉指導のポイントについて演習します。小学校、中学校、高等学校の系統性を踏まえて、衣食住・消費生活と環境に関連させた教材を構想・制作します。中学校免許外・特別支援学校の方も受講できます。	●	●	●	●		12月9日 (10名)
12月26日(月)		3651 小・中学校で学ぶ消 費者教育	家庭科及び家庭分野の「C消費生活・環境」の内容について、新設である「買い物の仕組みや消費者の役割」(小学校)、「売買契約の仕組み」、「消費者被害とその対応」(中学校)を中心に消費生活アドバイザーによる講義や授業に活用できる教材づくりを行います。	●	●				12月12日 (10名)	
12月26日(月)		3674 授業におけるICT活 用	授業におけるICTの活用について学びます。学習指導要領における情報活用能力の位置付けについて理解を深め、ICTを活用した授業づくりについて研修します。その講義内容をふまえて、ICTを活用した学習展開案を作成し、模擬授業を行います。	●	●	●	●		12月12日 (20名)	

【研修形態】 ☆：集合型+オンデマンド型 ◇：集合型+ライブ型 ◎：ライブ型+オンデマンド型 ※無印は集合型
□：集合型かライブ型 ○：オンデマンド型+集合型かライブ型